

吾妻山砂防通信



荒川第10砂防堰堤

第72号

荒川流域砂防堰堤管理用通路外工事：小林土木株式会社

【工事の概要】

工期：令和4年10月18日
～令和5年2月28日

工事箇所と主な工事内容

- 1) 佐原地区(塩の川第8砂防堰堤管理用道路)
 - ・塩の川第8砂防堰堤を造るための道路を造っています
- 2) 土湯温泉町地区(荒川第10砂防堰堤補修)★
 - ・荒川第10砂防堰堤を補修する工事を行っています
- 3) 在庭坂地区(不動沢第2砂防堰堤管理用道路)
 - ・不動沢第2砂防堰堤を管理するための道路を補修しています

【現場代理人から一言】



小林土木(株) 菅野さん

温泉街から現場までの道路は、市役所の除雪区域になっていますが、現道は急勾配・急カーブが続く道幅の狭い道路で、除雪の雪が路肩に残る状況です。今の時期は日中溶け出した路側の雪が路面に広がり夕方前から凍結する状況です。現場は迂回路のない道路なので、凍結時に車がスリップ事故等で走行不能になった場合、周辺の住民、宿泊施設、温泉関連施設等に多大な迷惑をかけることとなります。一般車両との通行障害及び交通事故の災害リスクを出来るだけ減らし、スムーズな車両通行を確保するため、融雪剤散布機を搭載した軽トラックを常備し、凍結が予想される場合及び路面凍結時に融雪剤を散布します。また、沿線の温泉、温泉管理施設等とのコミュニケーションを図り、工事の理解を得るようにしています。



1月23日(月)に、土湯温泉町地区(荒川第10砂防堰堤)の現場へ取材に行ってきました！

★荒川第10砂防堰堤を補修しています★

昭和40年(1965年)に完成した、荒川第10砂防堰堤を補修しています。河川内から集めた土砂等を使い工事用道路、施工ヤードを造ったあと、本堤と副堤の間に土砂崩れを防ぐための擁壁を造る工事を行っています。



現場は温泉街の奥、各施設に配慮しながら、冬の季節も安全に工事が行えるよう様々な安全対策がとられていました。

取材当日は、うっすらと雪が積もった道路状況でした。道路は狭く、対向車が来たら困る箇所もあり、冬場は特に大変な現場と感じました。川上温泉前の河川内から集めた土砂を積んで、荒川第10砂防堰堤の施工ヤードに運搬・盛土を行っていました。



▲重機を使って河川の土をダンプトラックに積み込みます。



▲土砂を荒川第10砂防堰堤まで運びます。

【様々な安全対策】



▲凍結防止剤散布機を搭載した軽トラックで朝一番で凍結防止剤を散布してから、作業車両が現場へ向かいます。



▲除雪時でもバイナリー発電施設の温泉水送水管が分かるよう注意喚起のための目印を設置しています



▲発電施設の事務所前に予定を記入し情報を共有します

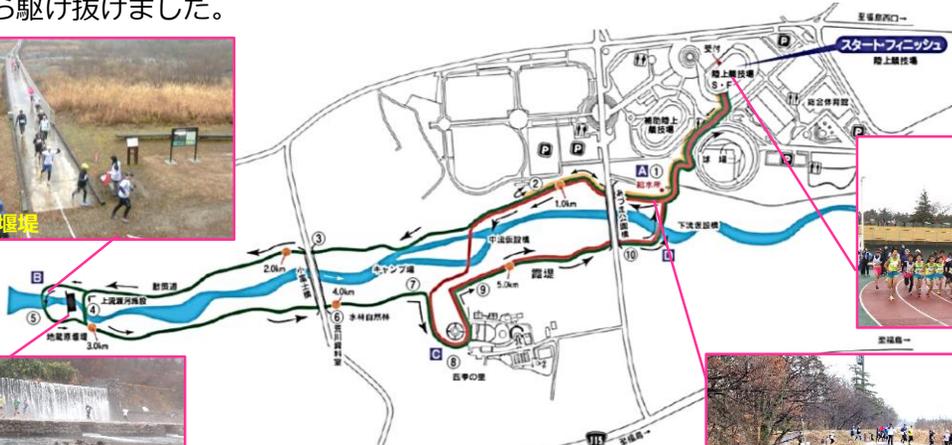


▲温泉水横断箇所を敷鉄板を置いて保護しています

第23回あづま荒川クロスカントリー大会が開催されました

令和4年12月11日(日)「あづま荒川クロスカントリー大会」が、あづま総合運動公園内のとうほう・みんなのスタジアムをスタート・ゴールに、3年ぶりに行われました。

年齢や距離ごとに13の部門に分かれてレースが行われ、自然豊かな荒川の堤防、歴史的土木構造物の地蔵原堰堤、荒川砂防事業の要である荒川遊砂地大暗渠砂防堰堤などをメインとしたコースをランナーたちが汗をかきながら駆け抜けました。



そなえる・ふくしま2022 ～みんなに役立つ防災イベント～

令和4年12月11日(日)郡山市の「ビッグパレットふくしま」で福島県主催の防災イベント「そなえるふくしま」が開催されました。

福島河川国道事務所からは、砂防に関するパネル展示や土石流模型実験を出展し、災害の恐ろしさや迅速な避難の重要性について学んでいただきました。



工事の無災害を目指し 安全に関する発表会を実施



令和5年1月19日(木)当出張所管内の工事や調査業務を行っている6つの会社の参加により「砂防関係安全施工技術研究発表会」を開催いたしました。参加各社から合わせて8題の論文が発表され、砂防事業の「安全施工技術」についての情報共有が図られました。



WEBによる発表会



砂防用語ひとくちメモ

～流路工とは？～

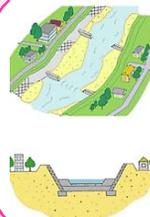


福島市内の荒川・松川には「流路工」と呼ばれる施設があります。

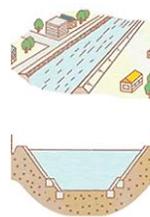
山地に大量の雨が降ると、河川の水や土砂の流れる勢いが強くなります。そうすると、川底や川岸が削られたり、さらに削られた土砂が溜まって川底が浅くなり、氾濫が起こりやすくなります。これを防ぐ働きをするのが「流路工」です。

「流路工」は、川を横断して設置する「**床固(とこがため)**」と呼ばれる低い帯状の構造物と、堤防を守る「**護岸**」とを組み合わせ、川底や川岸が削られるのを防ぎ、安全な流れを保つことで、洪水氾濫を防ぎます。

土湯温泉にある荒川流路工は、管理用道路の一部を一般開放しており、荒川せせらぎロード「ゆ～ろ」の愛称で親しまれています。



川底が著しく削られることを防ぎ、川底の傾斜をゆるやかに安定させます。



護岸がないと、流れる水の勢いで川岸が削られ、洪水が川からあふれるおそれがあります。

「ご意見、ご感想、砂防に関すること」はこちら

◆福島河川国道事務所HP (<http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>) も是非ご覧下さい◆

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所

吾妻山山系砂防出張所(本庁舎)

〒960-2156 福島県福島市荒井字地蔵原甲2-14
TEL: 024-593-0831

吾妻山山系砂防出張所(松川庁舎)

〒960-2261 福島県福島市町庭坂字遠原三3-4
TEL: 024-591-1207